

# 困った場面における親の信頼感についての一研究\*

久世敏雄 続有恒

蔭山英順ほか 過疎研究グループ

## I 目的

われわれは、困った場面における自己開放性についての検討を行ってきた(久世・蔭山1972, 蔭山・続・久世・過疎研究グループ1972)。そして、困った場面における自己開放性にかかわる要因として、両親の愛情との関連を検討しており(久世・続・蔭山・過疎研究グループ1972)、また、両親の信頼感との関連を報告する予定である。そこで、その報告に先立って、ここでは、困った場面における親の信頼感についての資料を提出することを目的とする。

## II 方法

### 1. 質問紙作成の手続き

われわれは、困った場面における自己開放性を調べるために、「家庭生活」、「身体・性格」、「勉強・成績」、「友人関係(異性関係を含む)」、「学校生活(教師関係を含む)」、「進学・就職」、「人生・社会観」の7領域、21項目で構成された質問紙を作成した。この困った場面における自己開放性に関する質問紙作成の手続きは、他の論文(久世・蔭山・1972)で報告したので、それを参照されたい。

そのさい、われわれは、両親の信頼感についての実態を把握するため、上述の7領域、21項目のそれぞれの問題で困っている場合、父、母、兄弟姉妹、親友、先生のうち、誰の意見・判断をもっとも重要なものとして頼るかの順位づけをさせている。兄弟姉妹が2人以上いるときは、そのうち親しい兄弟姉妹について、先生は、担任の先生(指導教官)について記述させることにした。

作成した質問紙は、次頁の附票に示すとおりである。

### 2. 整理の観点ならびに調査対象など

われわれは、困った場面における親の信頼感について検討するため、つぎの諸点から考察する。

\* PERCEPTION OF RELIANCE ON PARENTS IN DIFFICULT SITUATIONS. by Toshio KUZE, Aritsune TSUDZUKI, Hidenori KAGEYAMA, and the "KASO" GROUP.

- (1) 対人別信頼度
- (2) 対人別・領域別信頼度
- (3) 対人別・項目別信頼度

つぎに、調査対象は、長野県(上村)、熊本県(水上村)の過疎地域\*と名古屋市の中学2年生および大学生である。有効調査人員\*\*は、過疎地中学生男子44名、女子45名、名古屋市中学生男子166名、女子164および大学生男子194名、女子201名である。なお、過疎地中学生の調査は、昭和46年7月中旬から下旬にかけて、名古屋市内中学生の調査は、昭和47年2月から3月にかけて、大学生の調査は、昭和46年9月上旬に実施した。

## III 結果

結果の整理は、21の項目それぞれについて、もっとも重要な意見・判断として頼る人から順番に、4点、3点、2点、1点および0点を与えて得点化した。したがって、得点の高いほど、青年から信頼されていることを意味する。

### 1. 対人別信頼度

表1は、中学生について、父、母、兄弟姉妹、親友および先生別に、7領域・21項目の総得点の平均(M)ならびに標準偏差(SD)を、男女別に示したものである。全項目とも、もっとも重要な意見・判断として信頼される場合の最高可能得点は、84点である。なお、表中\*印、\*\*印は、名古屋市中学校間および過疎地中学校間において、5%、1%水準で有意差のあることを示している(\*、\*\*印に関しては、以下同様、5%、1%水準で有意差のあることを示す)。

表1によれば、名古屋市中学校間では、父、母および兄弟姉妹への信頼度は、差異がなく、親友および先生への信頼度は、有意差がある。これに対して、過疎地中学

\* 過疎地域の選定等については、続有恒ほか(1971, 1972)を参照されたい。

\*\* われわれは、困った場面における自己開放性の実態とその要因を検討するため、同じ被験者に調査I, IIを実施した。そのため、両調査を実施した者で、さらに、両親健在であり、一人子でない被験者を有効調査人員としている。

困った場面における親の信頼感についての一研究

校間では、父および母への信頼度は、差異がなく、先生への信頼度は、男子において、兄弟姉妹および親友への信頼度は、女子において差異がある。したがって、親に

対する信頼感、名古屋市中学生間および過疎地中学生間において差異は認められない。

附 票

あなたはつぎのそれぞれの問題で困っている場合、父、母、兄弟姉妹、親友、先生のうち誰の意見・判断をもっとも重要なものとして頼りますか。もっとも重要な意見・判断として頼りにする人から順に、それぞれの問題について、4、3、2、1、0と順位をつけてください。

注 意

(i) 父、母、兄弟（姉妹）のない人は、いる人だけについて教えてください。

順位をつける人が4人の場合は、3、2、1、0としてください。

(ii) 兄弟（姉妹）が2人以上いるときは、そのうち親しい兄弟（姉妹）についてかいてください。

(iii) 先生は担任の先生についてかいてください。

困った場面	もっとも頼る人				
	父	母	兄弟姉妹	親友	先生
1. 家庭内にもめごと、不和のあるとき					
2. 両親が無理解なとき					
3. 家の経済状態について気になるとき					
4. 身体的な面や容姿について気になるとき					
5. 性についての知識があいまいなとき					
6. 自分の性格について気になるとき					
7. 上手な勉強の仕方がわからないとき					
8. 成績の悪い科目があるとき					
9. 勉強とクラブ活動を両立させたいとき					
10. 信頼する友だちがえられないとき					
11. 友人といさかい（けんか、口論）をしたとき					
12. 異性との交際について不安のあるとき					
13. 先生の忠告がすなおにうけとれないとき					
14. 先生の教え方について納得しにくいことがあるとき					
15. 学校生活に、はりあいがないとき					
16. 進学しようか就職しようか迷ったとき					
17. どの学校に進学すべきか迷ったとき					
18. どの職業を選択しようか迷ったとき					
19. 人生いかに生きべきかよくわからないとき					
20. 学生運動が正しいかどうか判断できないとき					
21. ある宗教の信者になるべきか迷っているとき					

資 料

表 1 対人別信頼度 —— 中学生 ——

地域別	性別	対人別 平均ならびに標準偏差 学校種別	父		母		兄弟姉妹		親友		先生	
			M	S D	M	S D	M	S D	M	S D	M	S D
			名古屋市	男	川名中学	47.49	13.87	52.69	12.81	37.83	22.77	50.69
		日比野中学	48.77	17.09	51.78	14.17	36.88	22.63	41.52 <sup>**</sup>	16.83	31.05 <sup>**</sup>	18.49
	女	川名中学	41.44	14.18	61.20	10.05	39.69	19.53	55.79	14.49	11.89	13.99
		日比野中学	39.56	15.32	58.11	12.80	39.61	21.03	49.65 <sup>**</sup>	13.81	23.08 <sup>**</sup>	15.31
過疎地域	男	上村中学	48.22	6.43	53.33	13.88	46.44	18.53	40.00	13.00	22.00	15.33
		水上中学	48.63	16.86	51.37	11.84	31.80	21.67	43.49	19.62	34.86 <sup>*</sup>	14.68
	女	上村中学	42.93	11.40	55.53	11.42	46.13	17.73	42.07	11.41	23.33	13.88
		水上中学	40.83	14.81	51.83	13.09	32.50 <sup>*</sup>	16.05	54.10 <sup>**</sup>	14.57	30.80	14.46

表 2 対人別信頼度 —— 中学生・大学生 ——

性別	学校種別	対人別 平均ならびに標準偏差	父		母		兄弟姉妹		親友		先生	
			M	S D	M	S D	M	S D	M	S D	M	S D
			男子	名古屋市 中学	48.15	15.63	52.22	13.54	37.34	22.70	45.94	16.88
	過疎地 中学	48.55	15.32	51.77	12.31	34.80	21.88	42.77	18.51	32.23	15.69	
女子	名古屋市 中学	40.37	14.86	59.45	11.79	39.65	20.40	52.30	14.43	18.23	15.76	
	過疎地 中学	41.53	13.80	53.07	12.68	37.04	17.83	50.09	14.73	28.31	14.69	
男子	国立大学	40.08	14.76	40.10	13.48	38.59	20.10	64.57	11.42	26.56	17.38	
女子	私立大学	38.05	14.90	53.36	12.33	44.94	17.72	58.93	12.98	14.57	12.73	

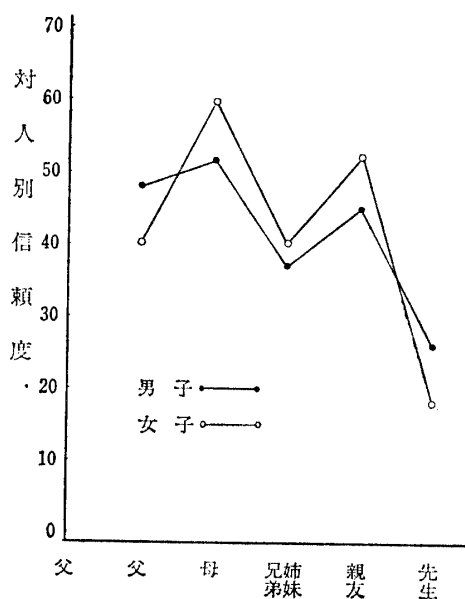


図 1 中学生の対人別信頼度

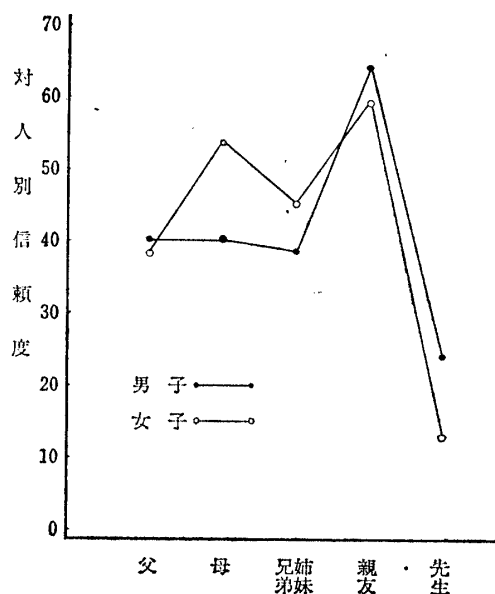


図 2 大学生の対人別信頼度

表2は、表1の結果のもとに、中学生および大学生について、父、母、兄弟姉妹、親友および先生別、男女別に、7領域・21項目の総得点の平均(M)ならびに標準偏差(SD)を示したものである。また、図1および図2は、名古屋市中学生および大学生について、それらの結果を図示したものである。

表3は、表2の対人別信頼度について、中学生と大学生の検定結果を、表4は、性別の検定結果を表わしている。

表3 対人別信頼度の検定結果(中学生と大学生)

性別	対人別	父	母	兄弟姉妹	親友	先生
男子	名古屋市中学生と大学生	**	**		**	
	過疎地中学生と大学生	**	**		**	*
女子	名古屋市中学生と大学生		**	**	**	*
	過疎地中学生と大学生			**	**	**

表4 対人別信頼度の検定結果(性別)

	父	母	兄弟姉妹	親友	先生
名古屋市 中学生	**	**		**	**
過疎地 中学生	*			*	
大学生		**	**	**	**

表2, 表3, 図1および図2から、困った場面における父および母に対する信頼感は、中学生から大学生へと年令の進むにしたがって、対人別信頼度の順位の低下する傾向がみられる。これは、大学生においては、親友への相対的な信頼度が増すためである。

## 2. 対人別・領域別信頼度

表5は、対人別一父、母、兄弟姉妹、親友および先生一、領域別一家庭生活、身体・性格、勉強・成績、友人関係、学校生活、進学・就職、人生・社会観一信頼度の平均(M)ならびに標準偏差(SD)を中学・大学別、男女別に示したものである。対人別、領域別に、もっと

表5 対人別・領域別・信頼度

学校別	性別	対人別 平均ならびに標準偏差 領域別	父		母		兄弟姉妹		親友		先生	
			M	SD	M	SD	M	SD	M	SD	M	SD
			名古屋市	男子	家庭生活	7.67	2.57	8.34	2.17	6.98	3.30	4.44
身体・性格	5.94	3.10			7.93	2.63	5.83	3.42	7.95	3.32	2.36	2.68
勉強・成績	5.48	3.15			6.43	2.91	5.11	4.27	7.25	3.26	5.73	4.08
友人関係	5.44	3.01			7.15	2.77	6.01	3.69	7.98	3.62	3.43	3.26
学校生活	5.86	3.15			6.92	2.43	5.23	3.83	8.80	3.19	3.18	3.26
進学・就職	9.42	2.54			8.07	2.48	3.66	3.54	3.41	3.14	5.39	3.64
人生・社会観	8.34	2.97			7.38	2.36	4.52	3.63	6.07	3.53	3.70	3.22
中学	女子	家庭生活	6.43	2.56	8.73	2.17	7.43	2.78	5.78	2.80	1.63	2.73
		身体・性格	4.33	2.38	9.09	2.20	5.91	3.18	9.27	2.35	1.40	2.21
		勉強・成績	4.68	3.14	7.13	2.67	5.59	4.23	8.18	2.83	4.43	3.95
		友人関係	4.18	2.45	8.78	2.16	6.21	3.49	8.82	3.02	2.01	2.50
		学校生活	4.89	2.70	8.16	2.31	5.58	3.26	9.46	2.69	1.91	2.61
		進学・就職	8.48	3.32	9.09	2.34	3.92	3.45	3.97	3.09	4.55	3.50
		人生・社会観	7.38	3.22	8.47	2.22	5.01	3.35	6.83	3.19	2.30	2.77
過疎地	男子	家庭生活	6.80	3.07	7.95	2.39	6.43	3.55	5.14	3.17	3.77	3.01
		身体・性格	6.52	2.87	8.07	2.29	5.16	3.54	6.86	3.45	3.39	2.99
		勉強・成績	5.61	2.89	5.70	2.47	4.89	4.02	7.05	3.12	6.77	3.40
		友人関係	5.89	2.60	7.36	2.63	5.80	3.77	6.34	3.59	4.61	3.16
		学校生活	6.23	3.02	7.16	2.37	4.75	3.91	8.34	3.20	3.52	2.56
		進学・就職	9.70	2.87	8.20	2.23	3.41	3.12	3.20	3.31	5.48	2.92
		人生・社会観	7.80	2.99	7.32	2.52	4.36	3.41	5.84	3.27	4.68	3.27

資 料

中学	女子	家庭生活	6.44	2.85	7.91	2.26	6.87	3.02	6.07	3.18	2.71	2.32
		身体・性格	4.67	2.80	8.69	2.03	5.62	2.83	8.29	2.70	2.78	2.57
		勉強・成績	4.82	3.02	5.53	2.30	5.16	3.31	8.02	2.93	6.47	3.64
		友人関係	4.27	2.82	7.27	2.80	6.42	3.21	8.16	3.22	3.89	3.34
		学校生活	5.69	2.93	7.22	2.58	5.38	3.13	8.42	2.96	3.29	3.17
		進学・就職	9.07	2.36	9.04	2.26	2.60	2.69	3.84	3.38	5.44	2.85
		人生・社会観	6.58	2.61	7.40	2.67	5.00	3.43	7.29	2.92	3.73	3.09
大学	男子	家庭生活	7.35	2.68	7.83	2.29	7.62	3.07	5.42	2.77	1.78	2.61
		身体・性格	4.77	2.42	6.26	2.29	6.84	3.16	10.24	2.26	1.83	2.66
		勉強・成績	3.77	2.73	3.62	2.51	5.11	3.37	10.88	1.58	6.61	3.67
		友人関係	4.66	2.78	6.16	2.70	6.25	3.50	9.85	2.70	3.03	3.33
		学校生活	4.70	2.75	5.02	2.54	5.19	3.46	11.15	1.73	3.94	3.62
		進学・就職	8.59	3.15	6.19	3.05	3.10	3.60	6.68	3.51	5.44	3.89
		人生・社会観	6.24	2.85	5.02	2.47	4.47	3.60	10.35	2.29	3.92	3.41
大学	女子	家庭生活	6.49	2.69	8.61	1.87	8.54	2.37	5.83	2.40	0.51	1.31
		身体・性格	3.75	1.75	8.59	2.08	7.26	2.59	9.73	2.18	0.64	1.39
		勉強・成績	4.24	3.16	5.83	2.76	6.20	3.59	9.51	2.42	4.16	3.63
		友人関係	3.88	2.21	7.95	2.33	7.23	2.86	9.70	2.66	1.22	2.14
		学校生活	4.71	2.94	6.99	2.41	5.71	3.21	10.43	2.12	2.16	2.91
		進学・就職	8.48	3.42	8.84	2.42	4.31	3.53	4.89	3.38	3.48	3.43
		人生・社会観	6.50	3.27	6.56	2.33	5.69	3.43	8.85	2.94	2.40	2.83

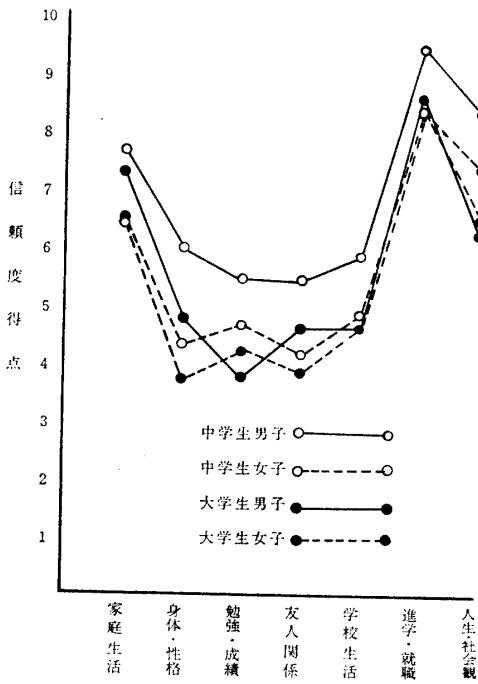


図3 父に対する領域別信頼度

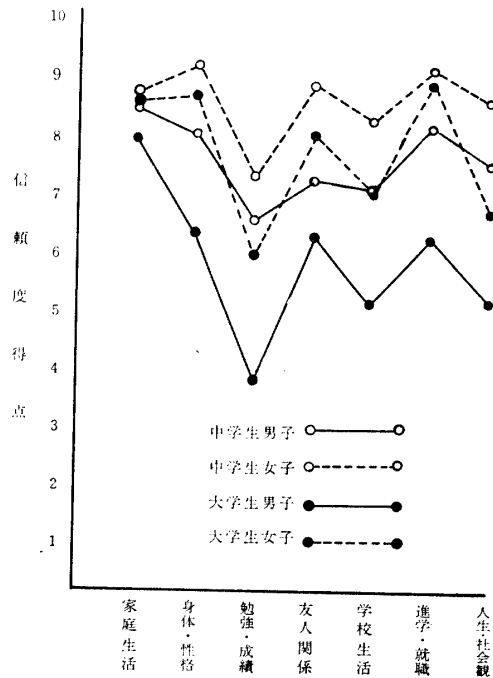


図4 母に対する領域別信頼度

も重要な意見・判断として信頼される場合の最高可能得点は、12点である。また、図3および図4は、父母別に領域別の信頼度を、名古屋市中学生および大学生について

男女別に示している。

表5、図3および図4から、大学生は中学生よりも各領域ともに、父母への信頼度の低いことがわかる。

困った場面における親の信頼感についての一研究

表6は、表5の数値をもとにして、学校別、性別、各領域別に、父、母、兄弟姉妹、親友および先生間の順位づけを試みたものである。この結果によれば、父は、「進学・就職」—男子の場合—の領域および「人生・社会観」—中学生男子の場合—の領域で、もっとも信頼され

「進学・就職」「人生・社会観」「家庭生活」の領域で母に対して、「進学・就職」「身体・性格」「家庭生活」の領域で、兄弟姉妹に対して、「家庭生活」「友人関係」「身体・性格」の領域で、先生に対して、「勉強・成績」「進学・就職」「人生・社会観」の領域で、親

表 6 領域別信頼度 (対人間の順位)

領域別	名古屋市 中学		過疎地 中学				大 学																							
	性 別		性 別		性 別		性 別		性 別																					
	父	母	兄弟姉妹	親友	先生	父	母	兄弟姉妹	親友	先生	父	母	兄弟姉妹	親友	先生															
家庭生活	2	1	3	4	5	3	1	2	4	5	2	1	3	4	5	3	1	2	4	5	3	1	2	4	5					
身体・性格	3	2	4	1	5	4	2	3	1	5	3	1	4	2	5	4	1	3	2	5	4	3	2	1	5	4	2	3	1	5
勉強・成績	4	2	5	1	3	4	2	3	1	5	4	3	5	1	2	5	3	4	1	2	4	5	3	1	2	4	3	2	1	5
友人関係	4	2	3	1	5	4	2	3	1	5	3	1	4	2	5	4	2	3	1	5	4	3	2	1	5	4	2	3	1	5
学校生活	3	2	4	1	5	4	2	3	1	5	3	2	4	1	5	3	2	4	1	5	4	3	2	1	5	4	2	3	1	5
進学・就職	1	2	4	5	3	2	1	5	4	3	1	2	4	5	3	1	2	5	4	3	1	3	5	2	4	2	1	4	3	5
人生・社会観	1	2	4	3	5	2	1	4	3	5	1	2	5	4	3	3	1	4	2	5	2	3	4	1	5	3	2	4	1	5

ており、母は、「家庭生活」, 「進学・就職」—女子の場合—, 「人生・社会観」—中学生女子の場合—の領域でもっとも信頼されている。

表7は、表5の数値をもとにして、学校別、性別に、父、母、兄弟姉妹、親友および先生に対する領域間の順位づけを試みたものである。表7により信頼度の1, 2, 3位に注目すると、中学生および大学生は、父に対して

友に対して、「学校生活」「身体・性格」「勉強・成績」「友人関係」の領域で、もっとも信頼していることがわかる。

こうして、表6, 表7によれば、中学生や大学生は、どの領域で、父、母、兄弟姉妹、親友および先生のうち誰をもっとも信頼するかについて、かなり一定し、安定した認知を示しているといえることができる。

表 7 父, 母, 兄弟姉妹, 親友および先生に対する領域別信頼度 (順位)

領域別	父			母			兄弟姉妹			親 友			先 生																				
	学 校 別			学 校 別			学 校 別			学 校 別			学 校 別																				
	名古屋市中	過疎中	大	名古屋市中	過疎中	大	名古屋市中	過疎中	大	名古屋市中	過疎中	大	名古屋市中	過疎中	大																		
家庭生活	3	3	3	3	1	4	3	3	1	2	1	1	1	1	1	6	6	6	7	6	6	6	6	5	7	7	7						
身体・性格	4	6	4	6	4	7	3	1	5	2	2	2	3	3	3	2	2	3	3	2	4	2	4	7	7	7	6	6	6	6			
勉強・成績	6	5	7	5	7	5	7	7	7	7	7	7	5	4	4	5	4	4	4	4	2	4	2	4	1	2	1	1	1	1			
友人関係	7	7	6	7	6	6	5	3	4	5	4	4	2	2	2	3	3	2	3	4	3	5	3	4	4	4	4	3	5	5			
学校生活	5	4	5	4	5	4	6	6	6	6	6	5	5	5	4	4	5	1	1	1	1	1	1	1	5	5	6	5	6	5	3	4	3
進学・就職	1	1	1	1	1	1	2	1	5	1	1	3	1	7	7	7	7	7	7	7	7	6	7	2	1	2	2	2	2	2			
人生・社会観	2	2	2	3	2	4	5	4	5	5	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	3	5	3	3	3	4	4	4	3	4			









### 3. 対人別・項目別信頼度

表8は、対人別、項目別の信頼度の順位の頻数を、中学、大学別、性別に百分率で示したものである。なお、対人別、項目別の百分率のうち、最大の数値をゴチックで示した。

つぎに、各項目別にみて、父および母に対して、父、母、兄弟姉妹、親友および先生のうち1位の信頼度を示した項目ならびにその百分率を示すとつぎのとおりである。

#### ・父に対して

名古屋市中学男子：

どの職業を選択しようか迷ったとき	56.0%
人生いかに生きべきかよくわからないとき	48.2%
進学しようか就職しようか迷ったとき	47.0%
家の経済状態について気になるとき	42.2%
ある宗教の信者になるべきか迷っているとき	38.0%
どの学校に進学すべきか迷ったとき	34.9%
家庭内にもめごと、不和のあるとき	31.9%

名古屋市中学女子：

進学しようか就職しようか迷ったとき	42.1%
どの職業を選択しようか迷ったとき	37.8%
どの学校に進学すべきか迷ったとき	32.3%

過疎地中学男子：

進学しようか就職しようか迷ったとき	59.1%
どの学校に進学すべきか迷ったとき	54.5%
どの職業を選択しようか迷ったとき	54.5%
人生いかに生きべきかよくわからないとき	40.9%
ある宗教の信者になるべきか迷ったとき	36.4%
家の経済状態について気になるとき	31.8%

過疎地中学女子：

進学しようか就職しようか迷ったとき	46.7%
-------------------	-------

大学生男子：

家の経済状態について気になるとき	47.4%
どの職業を選択しようか迷ったとき	45.9%
進学しようか就職しようか迷ったとき	39.7%
どの学校に進学すべきか迷ったとき	32.5%
家庭内にもめごと、不和のあるとき	30.4%

大学生女子：

どの職業を選択しようか迷ったとき	42.3%
進学しようか就職しようか迷ったとき	40.3%
どの学校に進学すべきか迷ったとき	34.8%

#### ・母に対して

名古屋市中学男子：

身体的な面や容姿について気になるとき	33.7%
家庭内にもめごと、不和のあるとき	31.9%
成績の悪い科目があるとき	22.9%

名古屋市中学女子：

身体的な面や容姿について気になるとき	53.0%
家の経済状態について気になるとき	51.2%
家庭内にもめごと、不和のあるとき	48.2%
ある宗教の信者になるべきか迷ったとき	42.7%
成績の悪い科目があるとき	26.8%

過疎地中学男子：

身体的な面や容姿について気になるとき	45.5%
家庭内にもめごと、不和のあるとき	31.8%
家の経済状態について気になるとき	31.8%
自分の性格について気になるとき	27.3%

過疎地中学女子：

家の経済状態について気になるとき	53.3%
身体的な面や容姿について気になるとき	46.7%
ある宗教の信者になるべきか迷ったとき	37.8%
どの職業を選択しようか迷ったとき	35.6%
どの学校に進学すべきか迷ったとき	33.3%
家庭内にもめごと、不和のあるとき	26.7%

大学生男子：

なし

大学生女子：

身体的な面や容姿について気になるとき	43.8%
家の経済状態について気になるとき	42.8%
家庭内にもめごと、不和のあるとき	37.8%

## Ⅳ 結果の要約

以上において、得られた結果を要約すれば、つぎのとおりである。

(1)困った場面における親の信頼感は、過疎地中学生間および名古屋市中学生間に差異はみられない。(表1)。

(2)困った場面における親の信頼感は、中学生から大学生になるにしたがって、対人別信頼度の相対的順位の下する傾向がみられる(表2,表3,図1および図2)このことは家庭生活の領域をはじめ、ほぼすべての領域についてあてはまる(表5,図3および図4)。

(3)父に対する信頼感は、「進学・就職」「人生・社会観」「家庭生活」の領域で、母に対する信頼感は、「身体・性格」「家庭生活」「進学・就職」の領域で高いことがわかる。(表5,表7および表8)。

このように、中学生や大学生は、どの領域で、父や母をもっとも信頼するかについて、かなり安定した認知を示している(表6および表7)。

困った場面における親の信頼感についての一研究

あとがき

この研究を進めるにあたって、多くの方々からご協力を頂いた。また、結果の整理・集計に際しては、名古屋大学教育学部教育統計機械室の電算機NEAC1240を使用した。ここに、ご協力頂いた方々に、深く感謝の意を表します。

文 献

- 続有恒ほか 1971 いわゆる過疎地域の家族関係(1) — 序報(その1) — 名古屋大学教育学部紀要 — 教育心理学科 —, 17, 27-62.
- 続有恒ほか 1972 いわゆる過疎地域の家族関係(2) —

序報(その2) — 名古屋大学教育学部紀要 — 教育心理学科 — 18, 17-32.

蔭山英順・続有恒・久世敏雄ほか 1972 中学生の自己開放性について 名古屋大学教育学部紀要 — 教育心理学科 — 19, 43-50.

久世敏雄・蔭山英順 1972 困った場面における自己開放性についての一研究 (印刷中)

久世敏雄・続有恒・蔭山英順ほか 1972 両親の愛情の認知と困った場面における自己開放性についての一研究 名古屋大学教育学部紀要 — 教育心理学科 — 19, 51-63.